

デジタル出版物制作Webサービス
「CAS-UB」
ワンソースマルチユースのポイント

 ANTENNA HOUSE **Formatter V6** によるPDF作成を中心に

2017年7月7日



アウトライン

1. CAS-UBとAH Formatter、解決しようとする課題
2. ワンソースマルチユース方式
3. CAS-UBのワンソースマルチユースの秘けつ
 - ① 本の自動作成のためのモデル化
 - ② 簡易マークアップでXMLタグ付けの効率化
 - ③ 印刷・電子書籍・Web用に画像を使い分ける
 - ④ パラメータ設定でPDFレイアウト変更、カスタムレイアウト
4. CAS-UB 実践例
5. 開発中のことなど

1. CAS-UBとAH Formatter、解決しようとする課題

CAS-UB紹介 動画

- CAS-UB初めての方向けの紹介動画をご覧ください。



AH XSL Formatterの日本語組版を使い倒し

- 日本語組版についての知識がなくても高品質の組版ができる
- 一品制作の書籍にXSL-FO自動組版を適用するための工夫
 - 126項目のレイアウト詳細設定パラメータ
 - 記事スタイルにより記事の種類別カスタム
 - スタイルセットによる段落や文字のカスタムレイアウト
- AH Formatterの独自のフロート拡張
 - 図版の多い専門書でも空きができないように自動調整

CAS-UBの開発の背景と狙い

- CAS-UBは紙と電子によるハイブリッド出版のための制作サービス
 - 電子書籍元年2010年夏に開発スタート
 - 2011年秋正式サービス開始から数えると6年
- ハイブリッド出版とは
 - KindleやKoboに象徴されるEPUB版電子書籍
 - アマゾンプリントオンデマンドなど流通によるPODのためのPDF
 - 一つのコンテンツを紙やデジタルなど多様なメディアで出版する

【参考】

流通によるプリントオンデマンドでの出版が現実のものとなった今、その活用の課題を考える。

<http://www.cas-ub.com/outline/PODmarket201701.html>

出版物：書籍、教科書、白書、調査報告書、紀要、製品説明書（利用ガイド）など幅広く考えている

CAS-UBで解決しようとする課題

- ① 多様なメディア向けの制作物ができること
- ② 効率的な制作ができる、生産性をアップする
- ③ 誰が制作しても一定の品質が保てる

特に、AH FormatterによるPDFの自動生成

実際に出版物を作りながら改善を図る

- 最近2年ほどは、実際に本を作り、問題点を見つけて、CAS-UBの改善を進める
- 『PDFインフラストラクチャ解説』
 - 2016年1月初版、今年3月に1.1版を発売。PODとKindle版がある
- 『XSL-FOの基礎』
 - 2016年4月初版、POD＋Kindle/Kobo。今年3月に2.0版を発売。POD＋Web
- 『ECMJEコマースを勝ち抜く原理原則 シリーズ』シリーズ
 - 7タイトル

2. ワンソースマルチユース方式

現在主流のペーパーファーストワークフロー

- データの二重化、制作校正・チェック工程の繰り返しが不可避
- 制作工程のオペレータ依存度が大きい

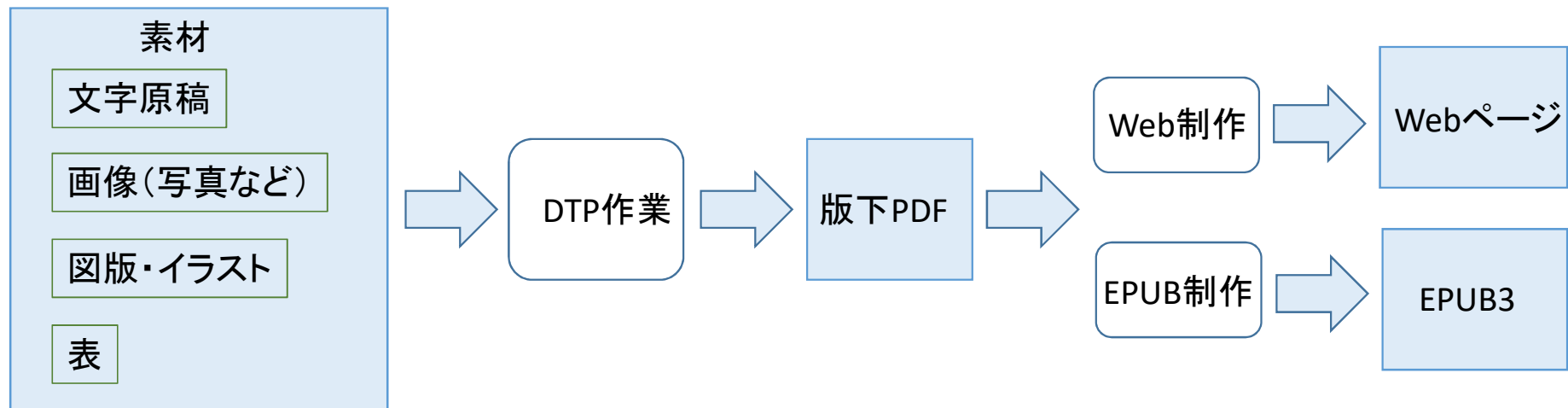


図1 プリントファーストの制作フロー

- 工程1 書店で売られる書籍はDTPで作リ、報告書などはWordなどで作り印刷する。
工程2 DTPやWordのデータからEPUB/Webなどを作る。

CAS-UB:ワンソースマルチユース方式

- 制作工程は1ステップ(工程の二重化を避ける)
- 制作物の生成工程は自動処理とする

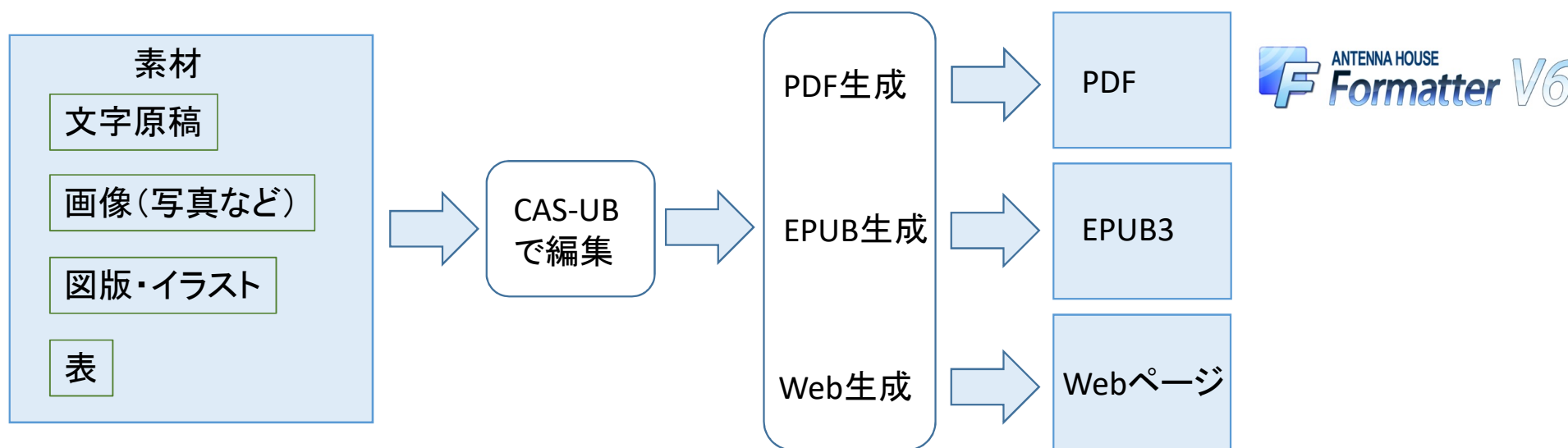


図2 CAS-UBの制作フロー

CAS-UBのワンソースマルチユースの秘けつ

1. 自動処理のための本のモデル化
 - 記事の種類
2. 内容のXML表現
 - 簡易マークアップ: CAS記法
3. 図版の問題
 - SVGとPNGの作成
 - 出力媒体別使い分け
4. PDF出力で柔軟なレイアウト変更を実現する
 - PDFレイアウトの設定法
 - XSLTスタイルシートカスタマイズ

秘けつ

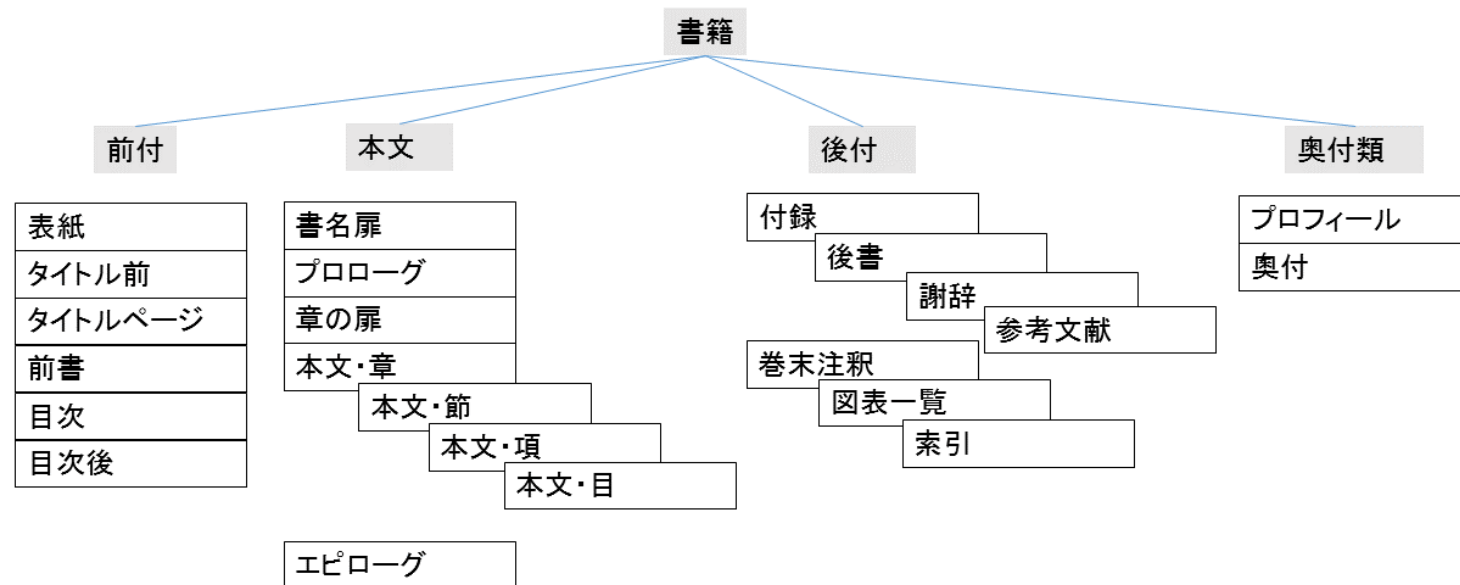
その1. 自動処理のための本のモデル化

CAS-UBの本は種類の違う記事を集めたもの

- 「記事の種類」で記事の順序やレイアウト(バラエティ)を決定
 - 例えば、「参考文献」は本文とは違う独自レイアウトになる
 - 「前書」を指定した記事は、本文より前に配置する、など

The screenshot shows the '新規記事作成' (New Article Creation) screen. A dropdown menu for '記事の種類' (Article Type) is open, displaying various options. The '本文: 章' (Main: Chapter) option is selected and highlighted in blue. Other visible options include 'エピローグ', 'タイトルページ', 'タイトル前', 'プロフィール', 'プロローグ', '付録', '前書', '参考文献表', '奥付', '後書', '本文の扉', '権利関係', '献辞', '目次', '目次後', '謝辞', and '記事の続き'.

CAS-UBの記事編集画面



日本語書籍の記事構成と順序

アウトライン編集機能

- 「記事一覧」ボタンで記事タイトルをアウトライン表示
章でファイルを分割した例

記事タイトルをクリックしてドラッグ&ドロップで移動して、章の順序をアウトライン編集

記事一覧	ヒント
■ 出版物 XSL-FOの基礎 第2版	
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 1 はじめに (i01-0002) [前書]
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 2 XSL-FO (による組版の概要 (i01-0003) [本文: 章]
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 3 FOツリーの基本構造 (201604021612) [本文: 章]
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 4 ページマスターとページシーケンス (i01-0004) [本文: 章]
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 5 ページレイアウトの切り替え (i01-0005) [本文: 章]
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 6 エリアモデル (i01-0006) [本文: 章]
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 7 プロパティ値の書き方 (i01-0007) [本文: 章]
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 8 テキストとフォント (i01-0008) [本文: 章]
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 9 ボーダー (罫線) とパディング (i01-0009) [本文: 章]
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 10 背景 (background) [本文: 章]
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 11 ブロック組版オブジェクト (i01-0010) [本文: 章]
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 12 ブロックコンテナー (i01-0011) [本文: 章]
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 13 インラインFOとインラインコンテナー (i01-0012) [本文: 章]
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 14 画像 (i01-0013) [本文: 章]
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 15 ページ番号の処理 (i01-0014) [本文: 章]
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 16 柱の内容を取得 (i01-0020) [本文: 章]
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 17 リーダー (i01-0015) [本文: 章]
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 18 表 (i01-0016) [本文: 章]
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 19 リスト (箇条書き) (i01-0017) [本文: 章]
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 20 しおりのFO (201603282131) [本文: 章]
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 21 脚注と前方フーノート (i01-0018) [本文: 章]

秘けつ

その2. 内容のXMLマークアップ

コンテンツのXML化：CAS記法を考案

- アルファベットと記号でマークアップを表す
- マークアップ記号の後の「:」で属性を
 - :属性（クラス属性）
 - :属性=属性値

【参考】CAS記法一覧表

<http://www.cas-ub.com/howto/reference/index.html>

CAS記法の詳細はガイドの6章と8章を参照

<http://www.cas-ub.com/howto/web-manual/cas-userguide/index-multiview.html>

```
5 見出し
6 参考文献スタイル
7
8 参考文献一覧表のスタイルは、参考文献表を番号なし箇条書きで作成していることを想定しています。
9 箇条書き
10 *参考文献一覧表の各項目にはIDを振ります。IDの種類は参考文献 (@r) を指定します。
11 *かな漢字以外の書名のみ斜体を指定します。
12 ブロック範囲指定：注意
13 [[[:ann]=英文の参考文献の記載例
14 {{{
15 *:#a1@r Hacker, Diana. //MLA Handbook for Writers of Research Papers, 4th ed.// New York: Modern
    Language Association, 1999. Print.
16 }}}
17 ]]]
18 整形済み
19 [[[:ann=XHTML
20 {{{
21 <li id="u.201303311824.a1.r">Hacker, Diana. <em>MLA Handbook for Writers of Research Papers, 4th
    ed.</em> New York: Modern Language Association, 1999. Print.</li>
22 }}}
23 ]]]
24
```

・前スライド部分は内部的に次のようなXMLタグに変換される

```
12 <p>参考文献は記事の種類に「参考文献表」を指定してください。</p>
13 <p>記事の種類に「参考文献表」を指定すると、CAS-UBが用意した「参考文献表」のスタイル（PDFではページのレイアウト、EPUBではCSSに）
14 <div class="wrapper level4" >
15 <h1>1-2-1 参考文献スタイル</h1>
16 <p>参考文献一覧表のスタイルは、参考文献表を番号なし箇条書きで作成していることを想定しています。</p>
17 <ul>
18 <li>参考文献一覧表の各項目にはIDを振ります。IDの種類は参考文献（@r）を指定します。</li>
19 <li>かな漢字以外の書名のみ斜体を指定します。</li>
20 </ul>
21 <div class="gext ann"><div class="caption">英文の参考文献の記載例</div>
22 <pre>*:#a1@r Hacker, Diana. //MLA Handbook for Writers of Research Papers, 4th ed.// New York: Modern Language Association, 19
23 </pre>
24 </div>
25 <div class="gext ann"><div class="caption">XHTML</div>
26 <pre>&lt;li id="u.201303311824.a1.r">Hacker, Diana. &em&MLA Handbook for Writers of Research Papers, 4th ed
27 </pre>
28 </div>
29 <p>参考文献では箇条項目にはラベルをつけません。</p>
30 </div>
31 <div class="wrapper level4"><h1>1-2-2 英文参考文献</h1>
32 <p>斜体はイタリック体とします。</p>
33 <p>英文の参考文献は、箇条書きで各項目間および項目内の行ピッチはダブルスペース、1項目が2行にわたる場合には2行目を1行目の行頭から
34 </div></body>
```

CAS記法は簡易マークアップの一つ

- CAS記法の目的：
XMLのマークアップを少ない入力で行うこと
面倒なXMLタグ入力が不要
- CAS記法の特徴：
XMLの属性を簡単にマークアップできる仕組みがあること
- 世間ではマークダウンが流行っている
 - マークダウンと比べるとCAS記法の方が強力

CAS-UBのマークアップ支援機能

- よく使うだろうマークアップはダイアログを用意

【記事編集画面】

例) 索引設定するとき

見出し 箇条書き 表 画像 テキスト配置 修飾 ルビ **索引** インクルード リンク コメント ID参照 参考文献ID参照

1
2 参考文献は記事の種類に「参考文献表」を指定して
3
4 記事の種類に「参考文献表」を指定すると、CAS-UB
スタイル）が適用されます。
5
6 =参考文献スタイル
7
8 参考文献一覧表のスタイルは、参考文献表を番号
9
10 *参考文献一覧表の各項目にはIDを振ります。IDの
11 *かな漢字以外の書名のみ斜体を指定します。
12
13 [[[:ann =英文の参考文献の記載例
14 {{{
15 *:#a1@r Hacker, Diana. //MLA Handbook for Writers of Research Papers, 4th ed.// New York: Modern L

索引

種類: ノーマル

単語:
参考文献表

読み:
さんこうぶんけんひょう

☐ 索引にのみ表示

CAS記法 閉じる

DFではページのし
ています。

秘けつ

その3. 図版の制作と指定

図版形式は出力媒体別に使い分けが必要

- 印刷・スマホでは図版形式はSVGが適切である
 - [NG] 文字やイラスト図版は、ラスター画像にすると印刷で文字がにじむ
 - [NG] 最新スマホは印刷並みの高解像度なのでラスター画像は文字がにじむ
- 主要ブラウザではSVGでほぼ問題ないが、
 - Safariのみラスター画像を含むSVGを正しく表示できないという欠陥がある
- 電子書籍（EPUB/Kindle）では、SVGよりラスター画像の方が良い
- 現状、図版はSVG（線画）とラスター画像の使い分けが必要
将来は全部SVGで大丈夫だろう

独自開発の図版制作ツールのご紹介

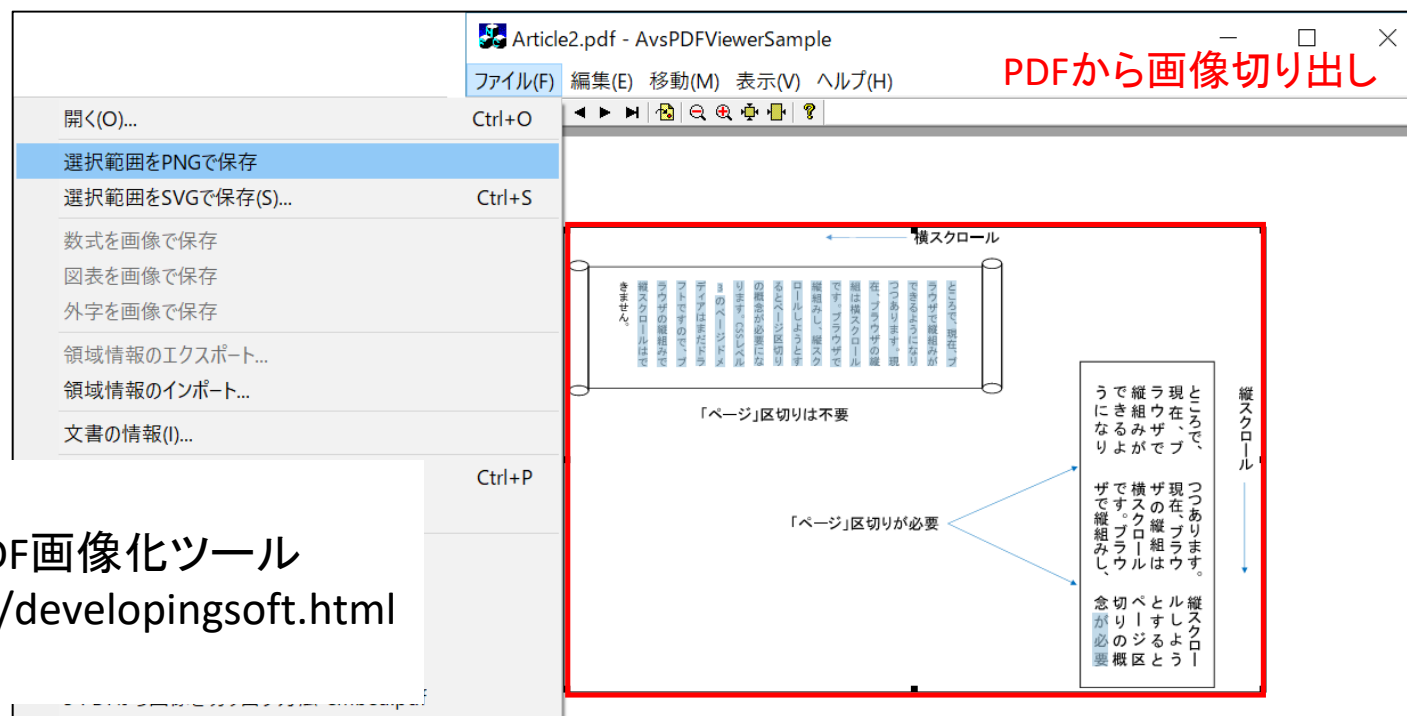
『XSL-FOの基礎』の図版制作の例

- ① 組版例はAH Formatterで、説明図はPowerPointで、PDFを作成
- ② PDFで範囲指定
- ③ SVGとPNGの二つの画像を切り出す

【参考資料】

PDFからSVGを切り取りできる PDF画像化ツール

<http://www.antenna.co.jp/epub/developingsoft.html>



PDFとEPUBで画像形式切り替え

ファイル名と拡張子を置換 PDF: *--pdf--.svg EPUB: *--epub--.png

置換

画像の置換

置換元: --pdf--.svg

置換先: --epub.png

置換して次

置換せず次

キャンセル

記事	置換する	テキスト
i01-0003.ent (15, 27)	<input checked="" type="checkbox"/>	{{:width=90% page-horizonw==pdf==.svg__epub.png 横書きの文書の縦スクロールではページ区切りが不要}}
i01-0003.ent (19, 28)	<input checked="" type="checkbox"/>	{{:width=90% page-verticalw==pdf==.svg__epub.png 縦書き文書の横スクロールではページ区切りが不要}}
i01-0003.ent (61, 21)	<input checked="" type="checkbox"/>	{{:width=75% xsflow==pdf==.svg__epub.png XSL-FOによる組版プロセス}}
i01-0003.ent (228, 22)	<input checked="" type="checkbox"/>	{{:width=55% coverage==pdf==.svg__epub.png}}
201604021612.ent (6, 14)	<input checked="" type="checkbox"/>	{{fo-tree-top==pdf==.svg__epub.png}}
201604021612.ent (32, 28)	<input checked="" type="checkbox"/>	{{:width=95% fo-tree-simple==pdf==.svg__epub.png i01-image2.png}}

CAS-UB PDF版面での画像表示幅

画像の幅は次のように決まる

- ① 画像の横幅＝画像の画素数/AH FormatterのDPI設定値
- ② 横幅が版面の幅を超えるときは自動的に100%縮小
- ③ 画像の幅を版面のX%の幅に強制したいとき
`{{:width=X% ファイル名 | 代替テキスト}}`

画像のマークアップ例

```
1
2 [[[fig =画像の大きさ
3  {[material-slide.png|プレゼンスライドファイル]}
4 ]]]
5
6 [[[fig =画像の大きさ#a
7  {[width=50% material-slide.png|プレゼンスライドファイル]}
8 ]]]
```

画像のキャプションはIDに使う
同名のキャプションは#と文字で区別

秘けつ

その4. パラメータ設定でPDFレイアウト変更
カスタムレイアウト

PDF生成では判型と基本版面指定は必須

- 文字数・行数指定(日本語組版方式)とマージン指定(Word方式)ができる

テーマ 横組書籍 ▼ テーマ選択 用紙サイズ B6判 JIS (128 x 182 mm) ▼ 用紙サイズ選択 [カスタム用紙サイズ設定](#)

基本版面

設定項目	値	説明
用紙サイズ横幅	128mm	
用紙サイズ高さ	182mm	
基本版面の指定方法	マージン指定 ▼	本文領域を上下・左右のマージンで指定するか文字数・行数で指定するか
左右マージン	17.96mm	マージン指定のとき、左右の各マージンを指定
上下マージン	24.5mm	マージン指定のとき、上下の各マージンを指定
文字数(字詰め)	29	文字数・行数指定のとき、1行の文字数を指定
行数	24	文字数・行数指定のとき、1ページの行数を指定
基本文字サイズ	9pt	
行送り	16pt	

推奨基本版面

基本版面	Y-1(B6判、29文字、24行、9.4pt) ▼	基本版面選択
設定項目	Y-1(B6判、29文字、24行、9.4pt)	
用紙サイズ	Y-2(B6判、30文字、25行、9.2pt)	
用紙サイズ	Y-3(B6判、31文字、27行、9pt)	
用紙サイズ	Y-4(四六判、28文字、26行、9.4pt)	
用紙サイズ	Y-5(四六判、29文字、27行、9.2pt)	
用紙サイズ	Y-6(四六判、30文字、28行、9pt)	
用紙サイズ	Y-7(A5判、33文字、28行、9.4pt)	
基本版面の	Y-8(A5判、34文字、29行、9.2pt)	
左右マージン	Y-9(A5判、35文字、31行、9pt)	
上下マージン	Y-10(B5判、37文字、32行、10.5pt)	
文字数/行数	Y-11(B5判、38文字、33行、10.2pt)	
	Y-12(B5判、39文字、34行、10pt)	
	Y-13(A4判、37文字、30行、12pt)	
	Y-14(A4判、41文字、34行、11pt)	
	Y-15(A4判、43文字、36行、10.5pt)	

日本語組版では、行送りは基本文字サイズの1.6～1.7倍にする

[レイアウト詳細設定](#)

⇒ オプション・レイアウトパラメータの設定

PDF出力レイアウトの詳細設定(オプション)

- 27分類延べ160項目をパラメータで設定変更可
- 章タイトルのレイアウト(例)

章扉

章扉の作り方

扉は作らず、章は奇数ページから始まる	▼
章扉を作り、その裏のページから節	
章扉を作り、扉は表と裏	
扉は作らず、章は奇数ページから始まる	
扉は作らず、章は改ページで始まる	

デフォルト(改丁)

	POD	インク印刷	デジタル配布PDF
考え方	ページ単価が高い ので空ページを減 らす	見栄え優先	読みやすさ 空白ページは無意味
章見出し	改ページ	扉・改丁	改ページ

画像レイアウトの方法選択

- 横組

成り行き vs 上寄せ

文字の流し込み 有無

左右鏡像 有無

- 縦組

成り行き vs 上寄せ

文字の流し込み 有無

左右鏡像 有無

図表レイアウト

図版と表のフロートのさせ方

H-2:1 頁丸ごと図にするか、全幅(流し込みなし)で成り行き配置

H-1: 図は版面上付き固定、全幅(流し込みなし)

H-1-a: 図は版面上付き固定、流し込みあり、単頁

H-1-b: 図は版面上付き固定、流し込みあり、見開き

H-2:1 頁丸ごと図にするか、全幅(流し込みなし)で成り行き配置

H-2-a:1 頁図のみか、図は全幅または右に配置(左流し込み)、単頁

H-2-b:1 頁図のみか、図は全幅または小口よりに配置、見開き

完全なりゆき

図表レイアウト

図版と表のフロートのさせ方

T-1:1 頁図のみか全幅で図は天につけて配置

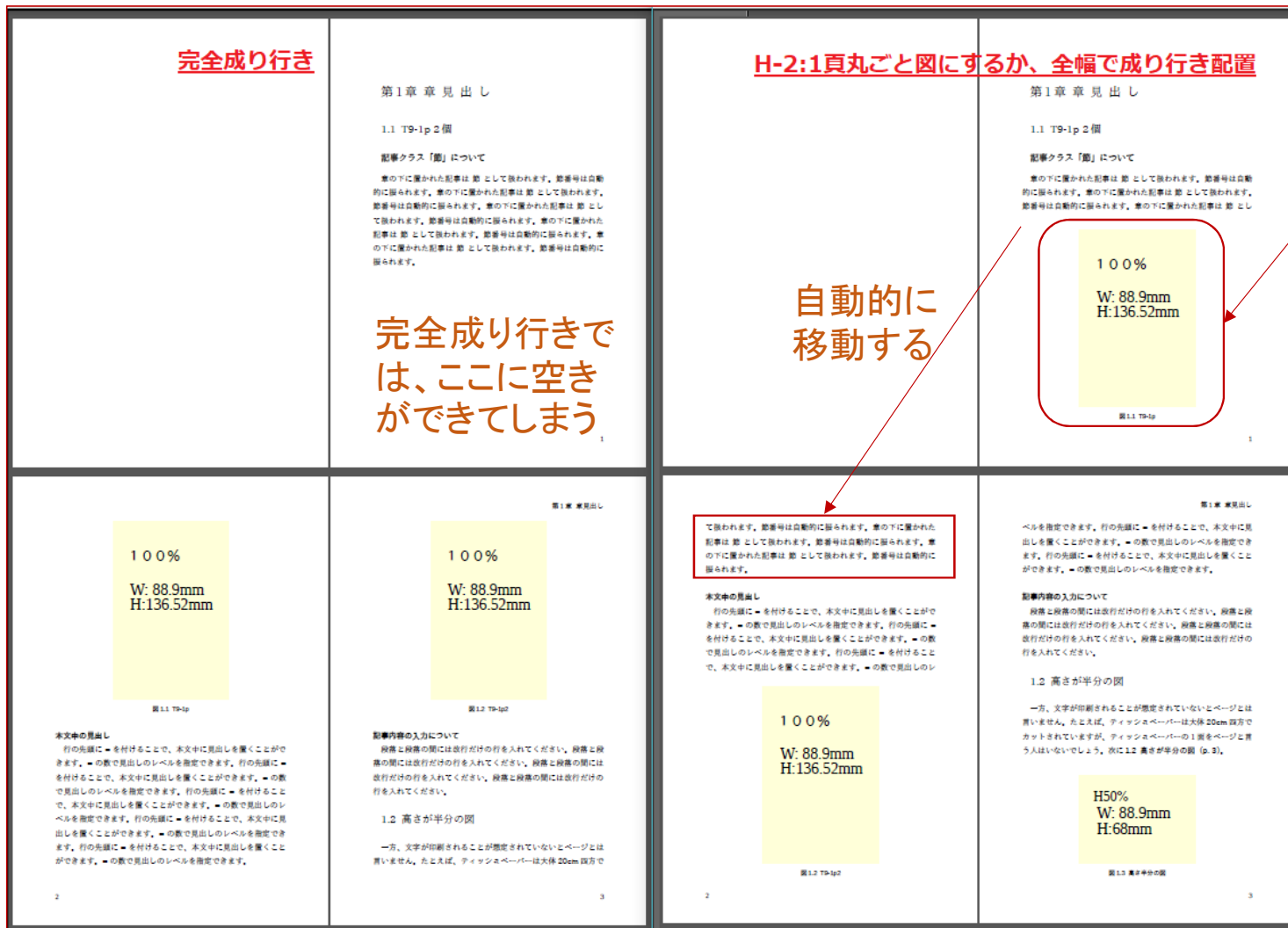
T-1:1 頁図のみか全幅で図は天につけて配置

T-1-a: 図は版面上付き固定、流し込みあり、単頁

T-1-b:1 頁図のみか、図は全幅または小口よりに配置、見開き

完全なりゆき

図の配置例



```
<fo:float
  axf:float-min-wrap-x="25%"
  clear="both"
  axf:float-min-wrap-y="32pt"
  axf:float-margin-x="9pt"
  axf:float-margin-y="10.56pt"
  axf:float="center auto-move"
  axf:float-centering-y="auto">
  ... 図
</fo:float>
```

※図を幅100%(全幅)のコンテナに入れているのでテキストが回りこまない。

【参考】AH Formatterフロード拡張

<http://www.antenna.co.jp/AHF/help/v64/ahf-float.html>

XSLTを変更せずレイアウトをカスタマイズ①

- 記事の種類で本文レイアウトを変更できる: 記事スタイル機能

- 例えば:

- ① 献辞を縦組でページの中央付近に一行だけ配置する
- ② 権利関係をページの下中央に配置する
- ③ 目次の下余白を大きくとってリーダー線の長さを短くする
- ④ 始まりを改丁するか改ページするか
- ⑤ 記事全体の文字を本文より小さくする

【参考】PDF生成のためのガイド 第5章

<http://www.cas-ub.com/howto/web-manual/cas-pdflayout/index-multiview.html>

XSLTを変更せずレイアウトをカスタマイズ②

- 見出しと本文にメリハリを付ける:スタイルセット機能
- 見出しとテキスト範囲指定部分に次の指定ができる

フォントファミリー名
フォントサイズ
フォントウェイト
フォントスタイル
色
背景色

ボーダー上
ボーダー下
ボーダー左
ボーダー右
パディング上
パディング下
パディング左
パディング右

【参考】PDF生成のためのガイド 第6章

<http://www.cas-ub.com/howto/web-manual/cas-pdflayout/index-multiview.html>

Amazon POD準拠のPDF生成

PDF

PDF生成ツールインターフェースのタブとボタン:

- 一般
- 表紙内容設定
- 奥付内容設定
- レイアウト設定
- フォント設定
- 出力オプション
- POD版設定** (赤枠で囲まれ、赤い矢印が設定表へと伸びる)

PDFを生成 (黄色いボタン) | 設定 1 (ドロップダウン) | 保存 (ボタン) | [生成設定の複製](#) (リンク)

- 現在のPDF設定値(赤)
- アマゾンPOD推奨値(右)
- 設定に名前を付けて「POD用設定」の保存が可

設定項目	値	推奨値
作成するPDFのバージョン	PDF1.7	PDF1.3
色空間	RGB	CMYK
トンボ	トンボを出力しない	塗り足しのみ
表紙	生成する	生成しない
用紙	B6判 JIS (128 x 182 mm)	B6判 JIS (128 x 182 mm)
基本版面の指定方法	マージン指定	マージン指定
上下マージン	24.5mm	24.5mm
左右マージン	17.96mm	17.96mm
左右位置調整	0mm	0mm
予想ページ数	24 - 150	24 - 150

4. CAS-UB 実践例

CAS-UB実践例(A)

- 初版発行: 2016年1月、第1.1版2017年3月
- サイズ: B5判 横組み
- ページ数: 268p(オンデマンド版)
- 価格(税込):
(オンデマンド版) 2,678円
(Kindle版) 1,250円

- 実績部数:

	POD販売など	KDP
初版	159	
1.1版	44	
合計	203	81



CAS-UB実践例(B)

- 初版発行: 2016年4月、第2版2017年4月
- サイズ: B5判 横組み
- ページ数: 228 p(オンデマンド版第2版)
- 価格(税込):
(オンデマンド版): 2,700円
(Kindle版) なし Webで全文を公開済み
- 実績部数:

	POD販売	KDP
初版	49	18
2.0版	7	
合計	56	18



CAS-UB実践例(C)

・ソフトウェアのマニュアル(POD)とパッケージ

PODマニュアル

WebHelp

目次

[第1章 マニュアルの使い方](#)

[第2章 製品の仕様](#)

[2-1 製品の概要](#)

[2-2 動作環境](#)

[2-3 PDF表示上の制限](#)

[2-4 PDF 出力・印刷時の制限](#)

[2-5 PDF 編集時の制限](#)

[2-6 差し込みデータ読み込み時の制限](#)

[2-7 ユーザーサポート](#)

[ユーザー登録について](#)

[第3章 製品のインストール](#)

[3-1 インストール](#)

[3-2 アンインストール](#)

よく一緒に購入されている商品



+



総額: ¥8,741

両方ともカートに入れる

 これらの商品のうちの1つが他の商品より先に発送されます。 [詳細の表示](#)

☒ **対象商品:** 瞬間 PDF 書けまっせ 7 - アンテナハウス Windows ¥7,099

☒ 瞬間PDF 書けまっせ7 ユーザーズマニュアル - アンテナハウス株式会社 オンデマンド (ペーパーバック) ¥1,642

5. 開発中のことなど

出版物のWEB化について

- CAS-UB V4でWeb生成機能を強化した
 - Webサイトは別途に運用していることが前提
 - CAS-UBで編集集中の出版物のWeb版を作るもの
- 主として弊社製品マニュアル(WebHelp発行)のために用意した
 - CAS-UBのユーザーガイドなどもWebHelpとPDFで提供
 - 実際にWebHelpを使ってみると、PDFよりWebが遙かに便利
- Web生成機能強化中(今後の課題)
 - レスポンシブ化など

【ご参考】『XSL-FOの基礎』のWebページ紹介

http://www.antenna.co.jp/AHF/ahf_publication/data/xsl-fo-v2/index-multiview.html

校正・校閲の問題







・用語の統制は編集で結構時間がかかる部分

- ・例えば『ECMJ流』では次のようなリストを作って、CAS-UBの検索 & 置換で作業した

172		○番号付き箇条書きの番号を引用		
173		「1」	1(ゴシック)または「1」(.をトル)	
174	○	一人	ひとり	
175		一番	※そのまま	
176	○	1人	ひとり	ひと はかな、いち は数字
177		1人あたり	ひとりあたり	
178	○	1人1人	ひとりひとり(5巻から漢字に変更)一人一人	一人一人は熟語なので漢字とする
179		100人に1人	※そのまま	数字の比較
180		一つ	ひとつ	
181		第一火曜日	第1火曜日	★第1四半期との類推
182		1つ、1つ(全角・半角)	ひとつ	★講談社は横書は数字で良いとなっているけれど、つ との整合性
183	○	二人	ふたり	ふた はかな、には数字
184	○	2人、2人	ふたり	
185	○	2つ、2つ(全角・半角)	ふたつ	
186	○	三人～	3人～	
187	○	十人	10人	但し、十人十色などは熟語
188		〇	〇	〇(これは数字、〇(これは漢字))

PICASSOLファイルのインポート機能（新機能）

- 昨日の定期保守からPICASSOLのインポート機能を公開した。
- 出版デジタル機構のPICASSOL整理したXMLを取り込みPDFやEPUBに
- PICASSOLは校正・校閲用のサービス

 [外部データ入力](#)  [画像](#)  [スタイルシート](#)  [検索](#)  [置換](#)  [生成](#) [その他のメニュー](#)

インポート:

インポートファイルの形式

インポート先

「主原稿」は出版物生成に使う記事を置く場所です。
「ドラフト」は書きかけの記事を置く場所です。

見出しの分割レベル

見出しで記事を分割する際、基準となる見出しレベルの値を指定します。

ファイルが選択されていません。

(開発中) オンプレミス版

- 社内イントラネット環境でCAS-UBを使えるように
- 主にWordからWebページへの変換用として想定

Webサイト・問い合わせ先

- CAS-UB Webサイト

<http://www.cas-ub.com/>

- CASブログ

<http://blog.cas-ub.com/>

- CAS-UB 問い合わせ先

cas-info@antenna.co.jp